

リンクE 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

施策1 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援
目標・方向性（関連性） 千葉県ゆかりの選手を一人でも多く輩出する ア ジュニア世代選抜選手や障害者スポーツ選手の競技力強化を推進（リンク C・D） イ 障害者競技組織の体制整備と障害者スポーツ選手の掘り起こしを推進（リンク B・C）

平成30年度の主な施策 【最終予算額（千円）】 担当課・室・班	実績報告		令和元年度の主な施策（計画） 【最終予算額（千円）】 担当課・室・班	実績報告 R1
	H29	H30		
「東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業」 <オリンピック部分> ・特別強化支援 【85,000】 体育課 選手の指定 海外遠征 国際大会の視察 国内遠征 強化合宿 選手・チームの招聘 競技用具の整備 外部指導者活用 医・科学サポート <パラリンピック部分> ・基礎強化支援 【1,020】 体育課 選手の指定 国際大会等の視察 競技用具の整備 選手・チームの招聘 外部指導者活用 合同練習会・合同合宿 障がい者スポーツ協会が特に認めた事業 ・特別強化支援 【13,980】 体育課 選手の指定 海外遠征 国際大会の視察 国内遠征 強化合宿 選手・チームの招聘 競技用具の整備 外部指導者活用 医・科学サポート 障がい者スポーツ協会が特に認めた事業 ・掘り起こし 【15,000】 障害者福祉推進課 競技団体が企画した競技体験会の実施	121人 17競技59事業 実施なし 18競技150事業 15競技53事業 1競技1事業 16競技39事業 5競技9事業 8競技16事業 36人2団体 実施なし 1競技4事業 実施なし 1競技1事業 2競技2事業 4競技7事業 実施なし 55人 11競技29事業 実施なし 12競技38事業 10競技22事業 実施なし 10競技25事業 3競技5事業 7競技14事業 5競技19事業 12競技23事業 延べ616人	117人 18競技72事業 2競技3事業 20競技147事業 15競技65事業 2競技3事業 16競技33事業 4競技12事業 7競技14事業 33人2団体 実施なし 1競技4事業 実施なし 1競技1事業 1競技1事業 3競技7事業 実施なし 52人 10競技27事業 実施なし 9競技36事業 9競技24事業 実施なし 9競技18事業 5競技7事業 6競技10事業 10競技26事業 14競技22事業	「東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業」 【100,000】 体育課 強化支援 <オリンピック部分> 選手の指定 外部指導者活用 医・科学サポート 競技用具の整備 海外遠征 国際大会の視察 国内遠征 強化合宿 選手・チームの招聘 競技力向上推進本部が特に認めた事業 <パラリンピック部分> 選手の指定 外部指導者活用 医・科学サポート 競技用具の整備 海外遠征 国際大会の視察 国内遠征 強化合宿 選手・チームの招聘 競技力向上推進本部が特に認めた事業	98人 集約中 集約中 集約中 集約中 集約中 集約中 集約中 集約中 集約中 61人 集約中 集約中 集約中 集約中 集約中 集約中 集約中

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和元年度の主な施策の概要【予算額（千円）】担当課・室・班

【100,000】体育課

対象競技	[東京オリンピック実施競技（33 競技）]※オリンピック種目に限る。 陸上競技、水泳、レスリング、柔道、サッカー、バレーボール、体操、ボクシング、バドミントン、フェンシング、テニス、アーチェリー、ウエイトリフティング、射撃、セーリング、ゴルフ、ボート、バスケットボール、卓球、トライアスロン、ハンドボール、自転車競技、7人制ラグビー、ホッケー、カヌー、馬術、近代五種、テコンドー、野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン	
	[東京パラリンピック実施競技（22 競技）]※パラリンピック種目に限る。 アーチェリー、陸上競技、バドミントン、ボッチャ、カヌー、自転車競技、馬術、5人制サッカー、ゴールボール、柔道、パワーリフティング、ボート、射撃、シッティングバレーボール、水泳、卓球、テコンドー、トライアスロン、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、車いすラグビー、車いすテニス	
推薦対象年齢	年齢制限なし（東京オリンピック・パラリンピックに出場可能な年齢の者）	
対象者	範囲	①千葉県内の学校等、スポーツクラブ、団体に在籍する選手で競技団体から推薦された者 ②千葉県内に在住する者で競技団体から推薦された者 ③千葉県内の学校等を卒業した選手で競技団体から推薦された者 ④競技団体から推薦があり、競技力向上推進本部が特に認めた者 ※学校等とは、「学校教育法」第1条に規定する学校及び専修学校、各種学校とする。
	競技レベル 競技団体推薦基準	①日本代表 ②中央競技団体強化指定選手 ③日本選手権等国内最上位大会での入賞
	指導者等	選手を継続的に指導する監督・コーチ等及び強化活動に必要とされる介助者・練習パートナー等
対象事業	①外部指導者活用 コーチ、トレーナー等を活用する。 ②医・科学サポート 運動能力測定の実施や医療費の助成を行う。 ③競技用具の整備 対象者が使用する競技用具を購入又は修理する。 ④海外遠征 対象者を大会出場や練習ゲーム等を行うため、強豪国へ派遣する。 ⑤国際大会の視察 対象者を国際大会の視察のため派遣する。 ⑥国内遠征 対象者をナショナルチーム選考会や全国大会等へ出場するため派遣する。 ⑦強化合宿 海外・国内において、強化合宿を実施する。 ⑧選手・チームの招聘 海外・国内のトップクラスの選手やチームを招聘し、大会や練習ゲームを実施する。 ⑨競技力向上推進本部が特に認めた事業	

令和元年度の主な施策の効果（成果・課題）

令和元年度まとめ

【令和元年度事業の特徴】

- オリンピック・パラリンピックに出場がより期待される選手に絞り込みました。
- 年度途中の追加指定及び金銭的支援のない指定を認めました。
- 国の支援が届かない「個人への支援、日常の活動・生活への支援」の充実を図りました。

【昨年度までの事業との違い】

[オリンピック部分]

- 年齢制限を撤廃しました。

[パラリンピック部分]

- 基礎強化を廃止しました。

[共通]

- 事業実施主体を千葉県競技力向上推進本部に一本化しました。

【共通】

強化指定選手に対して、①外部指導者活用 ②医・科学サポート ③競技用具の整備 ④海外遠征 ⑤国際大会の視察 ⑥国内遠征 ⑦強化合宿 ⑧選手・チームの招聘の各事業における支援を行い、オリンピック、パラリンピック出場に向けた強化を行いました。

[強化指定証授与式]（令和元年7月10日実施）

選手の意識高揚を図り、競技力向上に寄与できるように、強化指定選手を対象に強化指定証授与式・特別講演会を開催しました。

[強化指定選手の活躍]

国内大会はもとより、世界選手権やアジア競技大会等の国際大会においても、金メダル獲得や入賞など多くの強化指定選手が活躍しました。

[東京オリンピック日本代表内定者]（令和2年3月24日現在）

- | | | |
|---|--------------|----------------------------|
| 1 | 水泳（AS） | 塚本 真由【東京アーティスティックスイミングクラブ】 |
| 2 | 陸上競技（50km競歩） | 鈴木 雄介【富士通】 |
| 3 | 陸上競技（マラソン） | 中村 匠吾【富士通】 |
| 4 | 柔道 | ウルフ アロン【了徳寺学園】 |
| 5 | ボクシング | 並木 月海【自衛隊体育学校】 |
| 6 | 空手 | 植草 歩【JAL】 |

[東京パラリンピック日本代表内定者]（令和2年3月24日現在）

- | | | |
|---|----------|---------------------|
| 1 | 車いすテニス | 国枝 慎吾【千葉県車いすテニス協会】 |
| 2 | 陸上競技（身体） | 鈴木 朋樹【トヨタ自動車】 |
| 3 | ボッチャ | 廣瀬 隆喜【西尾レントオール株式会社】 |
| 4 | ゴールボール | 佐野 優人【順天堂大学】 |

令和2年度の主な施策の概要【予算額（千円）】担当課・室・班

○未来のアスリート育成事業【2,000】体育課・スポーツ推進室・オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班
 ※オリンピック・パラリンピック延期に伴い、令和3年度へ延期

【事業の目的】

継続的な競技力の向上を目的とし、未来のアスリート育成につなげるため、「東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業」により指定してきた選手を「レガシー」として活用します。

【事業の内容】

(1) 講演会

未来のアスリート（児童、生徒）を対象に、東京オリンピック・パラリンピックで活躍した選手を講師として「アスリート向け」の講演会を開催します。

(2) 記録集

強化指定選手が東京オリンピック・パラリンピック出場に向けて努力してきた過程を記録集として作成し、競技団体の指導者・競技者に「アスリートの努力の過程」を伝えます。

○障害者アスリート強化・支援事業【20,000】体育課・スポーツ推進室・オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班

【事業の目的】

千葉県ゆかりの障害者アスリートを指定し、継続的な競技力の向上を目指し、強化する取組に対して助成します。

【事業の内容】

1 対象者の条件

範囲	競技レベル※2
①千葉県内の学校等※1、スポーツクラブ、団体に在籍する選手 ②千葉県内に在住する選手 ③千葉県内に在勤する選手 ④競技力向上推進本部が特に認めた選手	①日本代表 ②中央競技団体強化指定選手 ③日本選手権等国内最上位大会で3位以内（団体競技※3は除く）

※1 学校等：「学校教育法」第1条に規定する学校及び専修学校、各種学校

※2 競技レベル：令和元年度実績

※3 団体競技：5人制サッカー、ゴールボール、シッティングバレーボール、車いすバスケットボール、車いすラグビー

2 支援の内容

- (1) 外部指導者活用
コーチ、トレーナー等を活用する。
- (2) スポーツ医・科学サポート
選手の運動能力測定実施や治療、コンディショニングを行う。
- (3) 競技用具の整備
対象者が使用する競技用具を購入又は修理する。
- (4) 海外遠征
対象者が大会出場や強豪国と練習試合等を行う。
- (5) 国際大会の視察
対象者が国際大会の視察へ行く。
- (6) 国内遠征
対象者がナショナルチーム選考会や全国大会等へ出場する。
- (7) 強化合宿
海外・国内において、強化合宿を実施する。
- (8) 選手の招聘
海外・国内のトップクラスの選手を招聘し、練習や練習試合を実施する。
- (9) 競技力向上推進本部が特に認めた事業

3 対象競技

パラリンピック実施競技（22競技）※パラリンピック種目に限る。

リンクE 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

施策2 スポーツを通じたネットワークの充実・拡大

目標・方向性（関連性）

スポーツを通じた地域の活力づくりを推進する

ア オリンピック・パラリンピック教育の推進（リンクA・C・F）

イ 積極的なスポーツ交流への参画（リンクC・F）

令和2年度の主な施策（計画） 【当初予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2計画	3
<p>・オリンピック・パラリンピック教育の推進 （リンクA・B・C・D・Fと連携） 【38,000】 事前キャンプ・大会競技支援課</p> <p>【一】体育課</p>	<p>①両大会に向けたカウントダウンイベントの開催(5件) 7/24 千葉市、一宮町 8/25 千葉市 10/28 成田空港 11/29 旭市 ②県民の日事業や大型商業施設、市町村イベントとの連携等による競技紹介・体験イベントの開催(11件) ③県内開催パラリンピック4競技普及の担い手育成に向けた研修・体験会(7件) ④競技団体と連携した学校訪問事業(3件) ⑤JOCオリンピック教室の実施(6校)</p>	<p>①両大会に向けたカウントダウンイベントの開催(3件) 7/24 成田市、一宮町 8/25,26 千葉市 3/18 千葉市 ②県民の日事業や大型商業施設、市町村イベントとの連携等による競技紹介・体験イベントの開催(11件) ③県内開催パラリンピック4競技普及の担い手育成に向けた研修・体験会(7件) ④競技団体と連携した学校訪問事業(12件) ⑤JOCオリンピック教室の実施(6校)</p>	<p>①両大会に向けたカウントダウンイベントの開催(1件) 7/27,28 千葉市 ②県民の日事業や大型商業施設、市町村イベントとの連携等による競技紹介・体験イベントの開催(5件) ③県内開催パラリンピック4競技普及の担い手育成に向けた研修・体験会(6件) ④競技団体と連携した学校訪問事業(26件) ⑤JOCオリンピック教室の実施(6校) ⑥県内開催競技観戦・応援促進事業(27校)</p>	<p>①県民の日事業や大型商業施設、市町村イベントとの連携等による競技紹介・体験イベントの開催(2件) ※県民の日中止決定 ②県内開催パラリンピック4競技普及の担い手育成に向けた研修・体験会(1件) ③競技団体と連携した学校訪問事業(16件) ④JOCオリンピック教室の実施(6校)</p>	
<p>・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業 【14,000】 教育政策課 教育立県推進室・企画班</p>	<p>・推進校 30校を指定 ・セミナーを開催 ・報告会を開催 ・指導資料集の作成等</p>	<p>・推進校 65校を指定 ・セミナーを開催 ・報告会を開催 ・指導資料集の作成等</p>	<p>・推進校 65校を指定 ・セミナーを開催 ・報告会を開催 ・指導資料集の作成等 ・オリンピック・パラリンピック推進月間の実施 ・オリンピック・パラリンピックのイラスト・キッズフレーズ作品の募集</p>	<p>・推進校 65校を指定 ・指導資料集の作成等 ・教員向け研修の実施 ・児童生徒向けリーフレットの作成 ・オリンピック・パラリンピック教育教材用DVDの作成・配付(次年度予定)</p>	
<p>・トップアスリート等活用事業 （再掲） 【700】競技スポーツ</p>	<p>18回 講師 52人 参加者 3,700人</p>	<p>17回 講師 46人 参加者 5,120人</p>	<p>20回 講師 55人 参加者 4,000人</p>	<p>講師 参加者</p>	<p>回 人 人</p>

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和元年度主な施策の効果（成果・課題）	令和2年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○オリンピック・パラリンピック教育の推進 【62,000】</p> <p>事前キャンプ・大会競技支援課 機運醸成・大会競技支援班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内開催オリンピック・パラリンピック競技の普及・振興イベントの実施 ・子どもたちとアスリートの交流 <p>本県で開催されるオリンピック・パラリンピック競技について、県内開催競技に対する理解を深めるとともに、競技人口の増加を図るため、競技団体等の協力の下、体験会やトップアスリートとの交流などの普及イベントを実施しました。（カウントダウンイベント、県民の日行事や大型商業施設等における競技紹介・体験イベント、パラリンピック競技普及の担い手育成、学校訪問等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内開催競技観戦・応援の実施 <p>本県で開催されるオリンピック・パラリンピック競技で、本年度県内で開かれる国際大会を生徒・児童等が観戦・応援する事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JOC オリンピック教室の実施【一】 （リンク A と連携）学校体育班連携 <p>2020 年に向けた機運醸成やオリンピック教育の推進を図るため、県内の公立中学校において JOC オリンピック教室（※）を実施しました。</p> <p>（※）JOC オリンピック教室とは、オリンピック（オリンピック出場経験のあるアスリート）が教師役となり、自身の様々な経験を通して、生徒たちにオリンピックの価値等を伝えるとともに、この価値がオリンピックだけでなく、多くの人々が共有し、日常生活にも生かすことのできるものであることを、授業を通して学習してもらうプログラム。</p>	<p>○オリンピック・パラリンピック教育の推進 【38,000】</p> <p>事前キャンプ・大会競技支援課 大会競技支援班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内開催オリンピック・パラリンピック競技の普及・振興イベントの実施 ・子どもたちとアスリートの交流 <p>本県で開催されるオリンピック・パラリンピック競技について、県内開催競技に対する理解を深めること、競技人口の増加を図ること、スポーツに取り組むきっかけを作ることなどを目的に競技団体等の協力の下、体験会やトップアスリートとの交流などの普及イベントを実施します。（県民の日行事や大型商業施設等における競技紹介・体験イベント、パラリンピック競技普及の担い手育成、学校訪問等）</p> <p>※新型コロナウイルス感染症流行拡大によるオリンピック・パラリンピックの延期を受け、緊急事態宣言の解除後に事業計画変更を予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JOC オリンピック教室の実施【一】 （リンク A と連携）学校体育班連携 <p>2020 年に向けた機運醸成やオリンピック教育の推進を図るため、県内の公立中学校において、JOC オリンピック教室（※）を実施します。</p> <p>（※）JOC オリンピック教室とは、オリンピック（オリンピック出場経験のあるアスリート）が教師役となり、自身の様々な経験を通して、生徒たちにオリンピックの価値等を伝えるとともに、この価値がオリンピックだけでなく、多くの人々が共有し、日常生活にも生かすことのできるものであることを、授業を通して学習してもらうプログラム。</p>

・オリンピック・パラリンピックを活用した
教育推進事業【14,000】

教育政策課・教育立県推進室・企画班

令和元年度は、取組方針に基づき、オリンピック・パラリンピック教育推進校を引き続き65校指定し、各校で様々な取組が行われました。具体的な事例としては以下の通りです。

「おもてなし」：おもてなし等に関する講演会、地域事業のボランティアスタッフ参加、県内実施各国事前キャンプ関係者との交流、花いっぱい運動、あいさつ運動等に取り組みました。

「心のバリアフリー」：パラアスリートによる講演会、障害者スポーツを通じた特別支援学校と小中高校との交流、スポーツ義足体験、福祉体験学習、車いす体験等を行いました。

「スポーツ」：フェンシング、ゴールボール、ボッチャ、車いすバスケットボール、アンプティーサッカー等の体験やオリンピック等の講演会の開催、県内で開催された国際大会の観戦を行いました。

「グローバル」：オリンピック・パラリンピックの精神を英語で学習、世界の料理を給食で提供、訪日外国人に対して日本の伝統文化の説明等に取り組みました。

また、夏季休業中、パラリンピック教材

「I'm POSSIBLE」を活用した教員研修会を県内教育事務所ごとに実施し、約800名の先生方が参加しました。

さらに、「オリンピック・パラリンピック推進月間」を10月11月に設定し、県内すべての公立学校でオリパラ教育を実践しました。

加えて、オリンピック・パラリンピックを活用した児童生徒の主体的な取組として、夏季休業中を中心にイラストやキャッチフレーズの作品募集を行いました。

○トップアスリート等活用事業（再掲）

【700】競技スポーツ

・オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートや指導者を学校や地域クラブ等に講師として派遣し、スポーツ教室や強化練習会等を行いました。

・オリンピック・パラリンピックを活用した
教育推進事業【14,000】

教育政策課・教育立県推進室・企画班

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育を推進し、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身につけさせ、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいくとともに、大会に向けた機運を醸成します。

次の4つのプロジェクトについて、推進校が重点的に取り組みます。

「おもてなしプロジェクト」ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動

「心のバリアフリープロジェクト」共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる活動

「スポーツプロジェクト」生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動

「グローバルプロジェクト」自国と他国の関係に目を向けて、自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動

また、オリパラ教育が無形のレガシーとして次の世代へ確実に引き継がれるよう教員向けに研修を行います。

今年度作成予定であった、推進校における授業の様子や県内ゆかりの選手を紹介するリーフレットと、教材用DVDについては、大会の延期に伴い、次年度に作成する方向で検討しています。

○トップアスリート等活用事業（再掲）

【700】競技スポーツ

・オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートや指導者を学校や地域クラブ等に講師として派遣し、スポーツ教室や強化練習会等を行います。

リンクE 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

施策3 誰もが参加できるみんなのスポーツの推進

目標・方向性（関連性）

- 共生社会に向けたアプローチを推進する
- ア アスリートの活躍する場（リンクA・D）
- イ 共生社会実現への取組（リンクB・C）

令和2年度の主な施策（計画） 【当初予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2計画	3
<p>・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業 【14,000】（再掲） 教育政策課・ 教育立県推進室・企画班</p> <p>・アスリートのキャリアやネットワークを活用した地域スポーツの推進</p> <p>・アスリートのキャリア支援</p> <p>【一】競技スポーツ班 オリンピック・パラリンピック アスリート強化・支援班 （リンクDと連携）</p> <p>・スポーツを通じた障害のある子どもとない子どもとの交流・共同学習の推進 【一】特別教育支援課 （リンクBと連携）</p> <p>・総合型クラブの活用促進 【一】生涯スポーツ班 （リンクB・Cと連携）</p> <p>・障害のある人ない人が共に楽しめる場を作る人材（コーディネーター）の養成 【一】障害者福祉推進課 特別教育支援課 生涯スポーツ班 （リンクB・Cと連携）</p>	<p>・推進校 30 校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>	<p>・推進校 65 校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>	<p>・推進校 65 校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p> <p>・オリンピック・パラリンピック推進月間の実施</p> <p>・オリンピック・パラリンピックのイラスト・キャッチフレーズ作品の募集</p>	<p>・推進校 65 校を指定</p> <p>・指導資料集の作成等</p> <p>・教員向け研修の実施</p> <p>・児童生徒向けリーフレットの作成</p> <p>・オリンピック・パラリンピック教育教材用DVDの作成・配付（次年度予定）</p>	
	<p>矢切特別支援学校を研究指定して実践 （再掲）</p>	<p>千葉特別支援学校、槇の実特別支援学校を研究指定して実践（再掲）</p>	<p>八日市場特別支援学校を研究指定して実践 （再掲）</p>	<p>千葉盲学校を研究指定して実践 （再掲）</p>	

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和元年度主な施策の効果（成果・課題）	令和2年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業【14,000】（再掲） 教育政策課・教育立県推進室・企画班</p> <p>令和元年度は、取組方針に基づき、オリンピック・パラリンピック教育推進校を引き続き65校指定し、各校で様々な取組が行われました。具体的な事例としては以下の通りです。</p> <p>「おもてなし」：おもてなし等に関する講演会、地域事業のボランティアスタッフ参加、県内実施各国事前キャンプ関係者との交流、花いっぱい運動、あいさつ運動等に取り組みました。</p> <p>「心のバリアフリー」：パラアスリートによる講演会、障害者スポーツを通じた特別支援学校と小中高校との交流、スポーツ義足体験、福祉体験学習、車いす体験等を行いました。</p> <p>「スポーツ」：フェンシング、ゴールボール、ボッチャ、車いすバスケットボール、アンパティーサッカー等の体験やオリンピック等の講演会の開催、県内で開催された国際大会の観戦を行いました。</p> <p>「グローバル」：オリンピック・パラリンピックの精神を英語で学習、世界の料理を給食で提供、訪日外国人に対して日本の伝統文化の説明等に取り組みました。</p> <p>また、夏季休業中にパラリンピック教材「I'm POSSIBLE」を活用した教員研修会を県内教育事務所ごとに実施し、約800名の先生方が参加しました。</p> <p>さらに、「オリンピック・パラリンピック推進月間」を10月11月に設定し、県内すべての公立学校でオリパラ教育を実践しました。</p> <p>加えて、オリンピック・パラリンピックを活用した児童生徒の主体的な取組として、夏季休業中を中心にイラストやキャッチフレーズの作品募集を行いました。</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックを活用した【14,000】教育推進事業（再掲） 教育政策課・教育立県推進室・企画班</p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育を推進し、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身につけさせ、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいくとともに、大会に向けた機運を醸成します。</p> <p>次の4つのプロジェクトについて、推進校が重点的に取り組みます。</p> <p>「おもてなしプロジェクト」ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動</p> <p>「心のバリアフリープロジェクト」共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる活動</p> <p>「スポーツプロジェクト」生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動</p> <p>「グローバルプロジェクト」自国と他国の関係に目を向けて、自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動</p> <p>また、オリパラ教育が無形のレガシーとして次の世代へ確実に引き継がれるよう教員向けに研修を行います。</p> <p>今年度作成予定であった、推進校における授業の様子や県内ゆかりの選手を紹介するリーフレットと、教材用DVDについては、大会の延期に伴い、次年度に作成する方向で検討しています。</p>

<p>○アスリートのキャリアやネットワークを活用した地域スポーツの推進 ○アスリートのキャリア支援 【一】競技スポーツ班 (リンク D と連携)</p> <p>県にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンや育成したアスリートの協力を得ながら地域のジュニアアスリート等を指導するとともに、学校体育活動に対する支援・協力を行います。</p> <p>またアスリートが競技に取り組みながら、地域社会・企業の一員としても活躍できるよう支援します。</p> <p>○スポーツを通じた障害のある子どもと ない子どもとの交流・共同学習の推進 【一】特別教育支援課 (リンク B と連携) (再掲)</p> <p>○総合型クラブの活用促進【一】生涯スポーツ班 (リンク B・C と連携)</p> <p>○障害のある人ない人が共に楽しめる場を作る人材 (コーディネーター) の養成 【一】障害者福祉推進課 特別教育支援課 生涯スポーツ班 (リンク B・C と連携)</p>	<p>○アスリートのキャリアやネットワークを活用した地域スポーツの推進 ○アスリートのキャリア支援 【一】競技スポーツ班 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班 (リンク D と連携)</p> <p>県にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンや育成したアスリートの協力を得ながら地域のジュニアアスリート等を指導するとともに、学校体育活動に対する支援・協力を行います。</p> <p>またアスリートが競技に取り組みながら、地域社会・企業の一員としても活躍できるよう支援します。</p> <p>○スポーツを通じた障害のある子どもと ない子どもとの交流・共同学習の推進 【一】特別教育支援課 (リンク B と連携)</p> <p>○総合型クラブの活用促進【一】生涯スポーツ班 (リンク B・C と連携)</p> <p>○障害のある人ない人が共に楽しめる場を作る人材 (コーディネーター) の養成 【一】障害者福祉推進課 特別教育支援課 生涯スポーツ班 (リンク B・C と連携)</p>
--	---